

第48回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

【開催概要】

日 時 令和 7 年 11 月 4 日(火) 13時30分～14時30分

場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室

出席者 16名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	嘱託教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斎	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	欠席
広島県旅客船協会	専務理事	迫田武利	欠席
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	欠席
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	閑田大祐	○
大崎上島町議会	産業建設常任委員会委員長	赤松良雄	○
大崎上島町連合区長会	副会長	桑原富生	○
大崎上島町商工会	会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	○
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太	○ (代理 小林弘志)
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	大林正明	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	薦 真	欠席
広島県地域政策局	公共交通政策課長	水本全彦	○ (代理 中和恵一)
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	平田和也	○
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	○
大崎上島町	地域経営課長	三村竜也	○
大崎上島町	建設課長	下川 昇	○

【議 事】

1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

2. 議 題

(1) 報告事項

①スマート海上バスゆき姫の試験運航について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいまの説明につきまして、ご質問等ありましたらお願ひします。
委 員	今回は自動運航船の試験運航ということでしたが、今後の方針をどのようにお考えなのかを教えてください。
事務局	今年度の試験運航は10月で終了しました。昨年度は冬場だったため、前回の倍の利用はあるだろうという見込みで実施したところ、逆に少なくなったという結果でした。そのため、要因を調べながら、これから下半期に検討して方向性を出していきます。 また、今の利用状況では赤字になるため、事業化のためには昼間の自動運航船の活用方法が大事になってきます。例えば、昼間の空き時間に、定期航路ではない観光周遊や、他の港を活用する運航なども検討し、次年度に繋げていきたいと考えています。
委 員	定期航路の運航ができるかどうかは相当先の話でしょう。先日、離島振興市町村議会議長会で、離島の活路を見出す先進的な取組と紹介されて、国も注目しているようです。形を変えながらでも継続的にやっていただきたいです。

(2) 協議事項

①地域公共交通体系づくりの基本方針について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいまの説明につきまして、ご質問等ありましたらお願ひします。
委 員	15ページの本土とのアクセス性に関して、フェリー航路のサービス水準を維持すると記載されていますが、これは便数を永続的に確保する、という意味でよろしいですか。それとも船舶の形態の変更、例えば船を小さくして人だけを運ぶ、といったことも概念としてあるのでしょうか。
事務局	現状は、サービス基準を下回らない便数で運航いただいており、そのままで何とか維持して欲しい、という思いを持っています。フェリーから旅客船への移行などは、現時点ではまだ早いと思います。現状での、車と旅客を運ぶフェリー便の維持、という意味です。
委 員	サービス水準というのは、私共でいうサービス水準を指しておられると言えます。これは、将来の輸送需要に応じて変更することも当然あり得ます。現実問題、私共も燃料高騰等の影響で経費が増大しているのに、運賃は上げられないというジレンマを抱えています。そのため、将来的にサービス基準自体を引き下げるということも正直危惧していますので、その可能性があることだけ、ご承知おきいただければと思います。

事務局	状況はよく把握していますので、いきなりそういう事態にならないように、事業者と密に連携をとりながら協議したいと思います。
委 員	<p>私共に要望がきています。まず、安芸津フェリー、垂水フェリーが老朽化しており、中には時々エンジンが止まることもあるようです。ただし、安芸津は2,000万円位の赤字があります。山陽商船の船も40年位経っている中で、対策が必要になっていると考えます。</p> <p>また、安芸津と垂水フェリーにはトイレを洋式化していない船があるので、お年寄りから直して欲しいとの要望があります。直すには300万円位かかるので難しいとも聞いています。</p> <p>お年寄りの利用者が多い中で、公共交通をどう守るか。便数以外の事でも改善して欲しいという声がありますので、国への要望も含め、よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>1点目の船の老朽化については、建造から30年以上経っているという話も事業者から聞いています。これは本町だけの問題ではなく、瀬戸内海の運航事業者はどこも同じ事情です。現在、県を中心に、県内の事業者及び自治体に聞き取りをしながら、ネットワークを組み、ひとつの代替船をグループの中で回すような運用も検討しています。県とも調整しながら、国への要望についても取り組みたいと思います。</p> <p>2点目のトイレの洋式化については、費用をかけて改善するのは中々難しいかもしれません、該当航路の事業者と相談して進めます。</p>
委 員	<p>デマンドバスについて、13ページの4点目に、「予約が集中したときに高齢者等が利用したくても利用が予約できない状況」とあります。私が聞いた話では、学生が1人で時間帯を固めて予約を取って、しかも友達同士で乗り合わせてくれれば良いけれど、個人がバラバラで取るので週末等は全然取れないということです。その結果、乗れた子が、他に取った予約を、自分が乗ったタイミングでキャンセルをするので、結局その直近の時間が全然予約できないということになるらしいです。</p> <p>予約時にIDで個人が特定できると思うので、マナーが極端に悪い利用者については、例えば一定期間利用停止にするなどのペナルティがあっても良いのではないかと思います。</p>
事務局	運行を始めた4月頃は、そういう話を結構聞きましたが、現時点では、二重登録や無断キャンセルの問題は落ち着いてきたと聞いていました。まだ、こうした利用があるのでしょうか。
委 員	バスの運転手に聞きました。
委 員	<p>確かに歟智学園と広島商船の学生でそうした利用があります。例えば、8時頃に予約を入れ、ジュンテンドーに行き、ウォンツに行き、ウォンツからフレスタに行って11時半ごろ寮に帰るような、1台の車が特定の学生に拘束されることもあります。そして、1人で3件くらい予約を取り、ギリギリになってキャンセルすることもあります。今のシステムでは、5分前でもキャンセル可能です。</p> <p>また、7時から運行しますが、運転手は30分前に待機するため6時半に出勤します。酒気帯びの点検や点呼もあり、15分かかります。24年度に1日の最大拘束時間は原則13</p>

	<p>時間になりましたので、7時開始であれば17時に終わらせる必要があります。その学生のために1日の拘束時間が終わることもあります。</p> <p>学校にも、例えば、乗り場を裏・表は無しにして同じ場所にする、なるべく団体で乗っていただくななど、お願ひしています。金曜日と土曜日は帰省で利用されますが、団体で利用して欲しいと考えています。</p> <p>どのように対応るのがよいかを社内でも協議しています。例えば、朝5時台の便もありますが、それは1人のお客様がいるためです。それを止めて、7時からの運行にすれば昼間の運行を充実できます。また運行時間は21時迄ですが、大半の利用は20時で終われます。こうした状況もみながら、昼間の時間帯の運行を充実させるのが良いと思います。</p>
事務局	4月から始まり、現時点でもいくつかの問題がありますが、まずは1年かけて運行してみて、その結果や反省を踏まえて、事業者と協議し、改善について協議会に諮りたいと思います。
委 員	今4台の車両がありますが、全ての台数が走っていない時間があります。前後の時間を止めることで中の時間が充実できるなら、期間の途中からでもみんなが利用できる効率的な方法を考えたらよいのではないかでしょうか。
事務局	この1年間実施することで、利用者が多い時間や重複する時間などがわかつてくると思うので、事業者と協議して、ドライバー人数や車の台数などを含めてうまく調整しながら、改善案を検討します。
委 員	バスの運転手も高齢化している中で、他所の町でも、運転手の確保をしないと、学校を統合したくてもスクールバスが無い為にできないという話も聞きます。運転手の確保に向けては、例えば二種免許を取得するための補助を出すとともに含めて、考えていかなければならないと思います。
事務局	ドライバーの高齢化等は、本町だけの問題ではなく、県内どこでも言われています。県でも、東京のふるさと回帰支援センター等の拠点で、移住に加えてドライバーの仕事があるという広報を行い、取り組んでいくという話もあります。県とも連携しながら、地元のドライバー育成及び島外からの転入者を併せて考えたいと思います。
委 員	以前住民の方に、早朝デマンドバスが通学のために利用ができないと言われましたが、学生の通学用になっている状況ではないですね。
委 員	月曜日なら朝の時間帯は7時に大西から叡智学園に利用されており、8時前になると広島商船への利用が多いです。
委 員	平日の朝と夕方、土曜日、日曜日も同じように学生が利用しています。それで予約がとれないのであれば、本来の公共交通機関としてどうなのかという難しい面もあります。
事務局	また事業者と共に検証します。十分協議しながら改善点があれば見直すということで、よろしくお願ひします。
議 長	私が見る限りだと、学生は雨の時に極端に集中しているように思います。あとはゴールデンウイーク前等の帰省時などです。対応策は、学校の方でも何かアイデアがあればと思っています。

	<p>利用実態をみると、学生は8時ぐらいの利用が多いと思いますが、お年寄りの方が使い始めるのは9時頃のようです。上手く棲み分けが出来ればと思います。</p> <p>フェリーのサービス基準、デマンドバスの予約、運転手の話と色々と出てきましたが、基本的な大きな方針については合意を得られたかと思います。ただし、本日の意見は事務局でも精査いただくとともに、どのようにするのが良いかについて引き続き議論できればと思います。</p> <p>また、デマンドバスは、利用者が増えたという意味で、プラスの部分もあると捉えています。これをうまく萎ませないように出来ればと思います。</p> <p>方針については概ね了承されたということで、次の議題に進めます。</p>
事務局	<資料説明>
議長	結果速報ということですが、何かありましたらよろしくお願ひいたします。
委員	タクシーを使った方から聞いた話ですが、運転手が高齢のため夜間走りたくないと言われていたそうです。こうした状況も頭に入れておくのがよいと思います。
事務局	タクシー事業者からは、高齢で夜運転するのが怖くなっていること、負担があるから日曜日は休みたいことなど、色々な話を聞いています。今後のタクシーの扱い手等についても、事業者と協議が必要と考えています。

3. その他

委員	お年寄りの方より、言って欲しいと頼まれたのですが、道路の白線、特に路側の白線を綺麗に書いていただきたいです。県の管轄でもあり、難しいのは分かりますが、町内は街灯が少ないし、カーブが多い為、はみ出して走る車が結構多く、危険です。県に要望をしていただきたい。
委員	予算の範囲内になるが、大体3月末頃に県からの委託などでお金をいただいており、県道はその残金でラインに引くことになります。その際、残金が無い場合は県に新たにお願いしたいと思います。

以上